

# 日本の「新」知的財産戦略：無形資産を成長の原動力へ

## 分野を貫く3つの横断的課題

### 「オープン・クローズ戦略」の高度化



競争力の源泉（クローズ）と普及のための標準化（オープン）を戦略的に切り分け、市場の拡大と不可欠性の確保を両立させます。

### データとノウハウの「保護と利活用」



特許化しにくい現場データやノウハウをAI-Ready化し、秘匿計算技術等を用いて競合間でも安全に連携できる基盤（データプラットフォーム）を構築します。

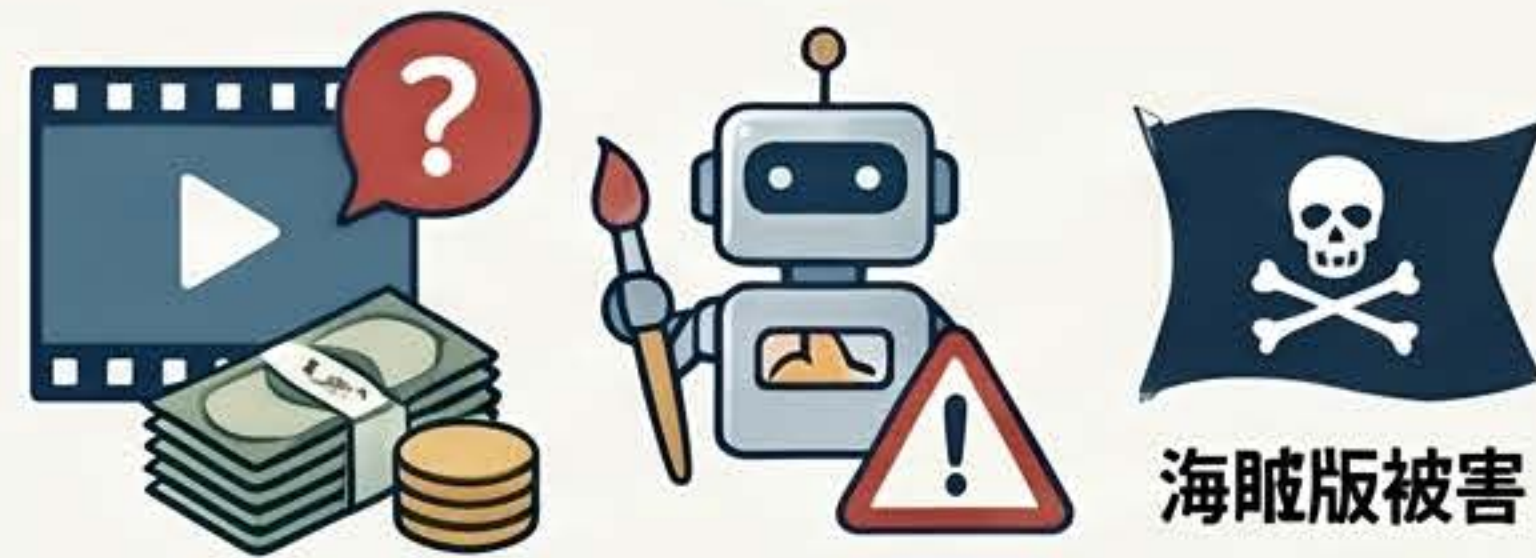
### 研究成果の社会実装とスタートアップ支援



大学等の技術シーズをカープアウトさせ、政府による初期需要創出（アンカーテナンシー）やSBIR制度の強化を通じて、民間資金を呼び込むエコシステムを構築します。

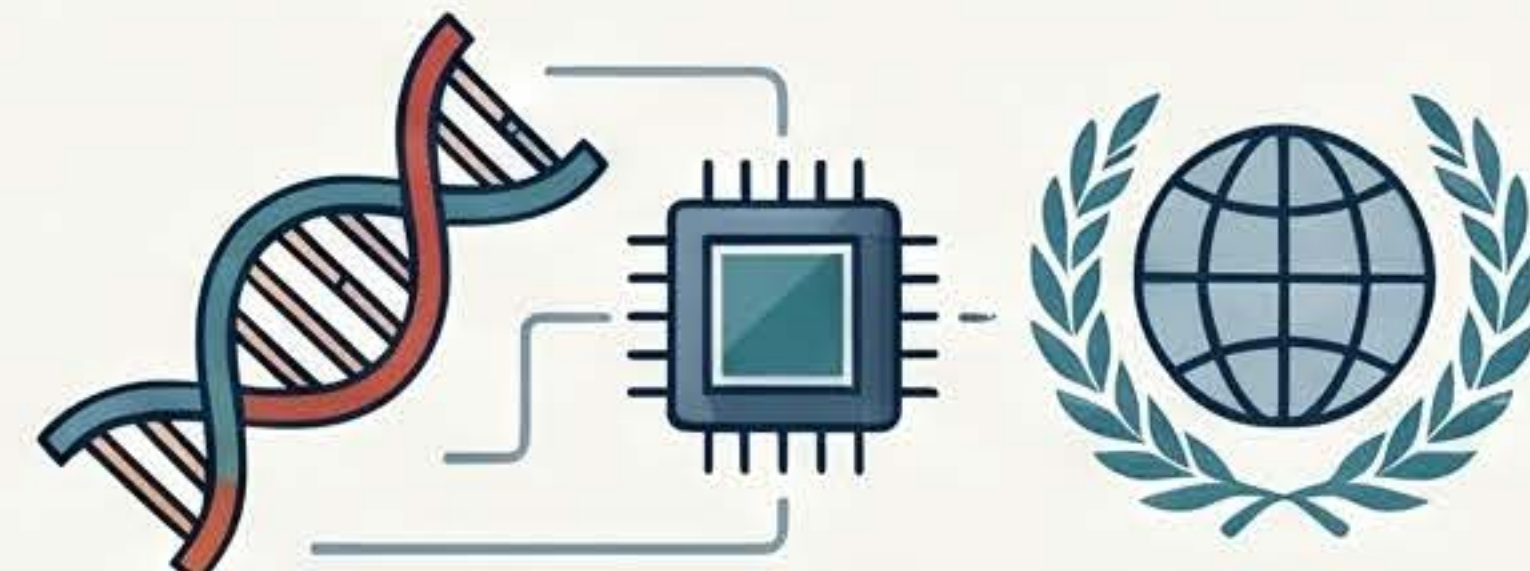
## 特定分野における知財のボトルネック

### コンテンツ：収益分配の適正化と生成AI



制作側への適正な利益還流（製作委員会方式の是正）と、年間数兆円規模の海賊版被害、生成AIによる類似物への対策が急務です。

### バイオ・創薬：データ基盤と国際標準



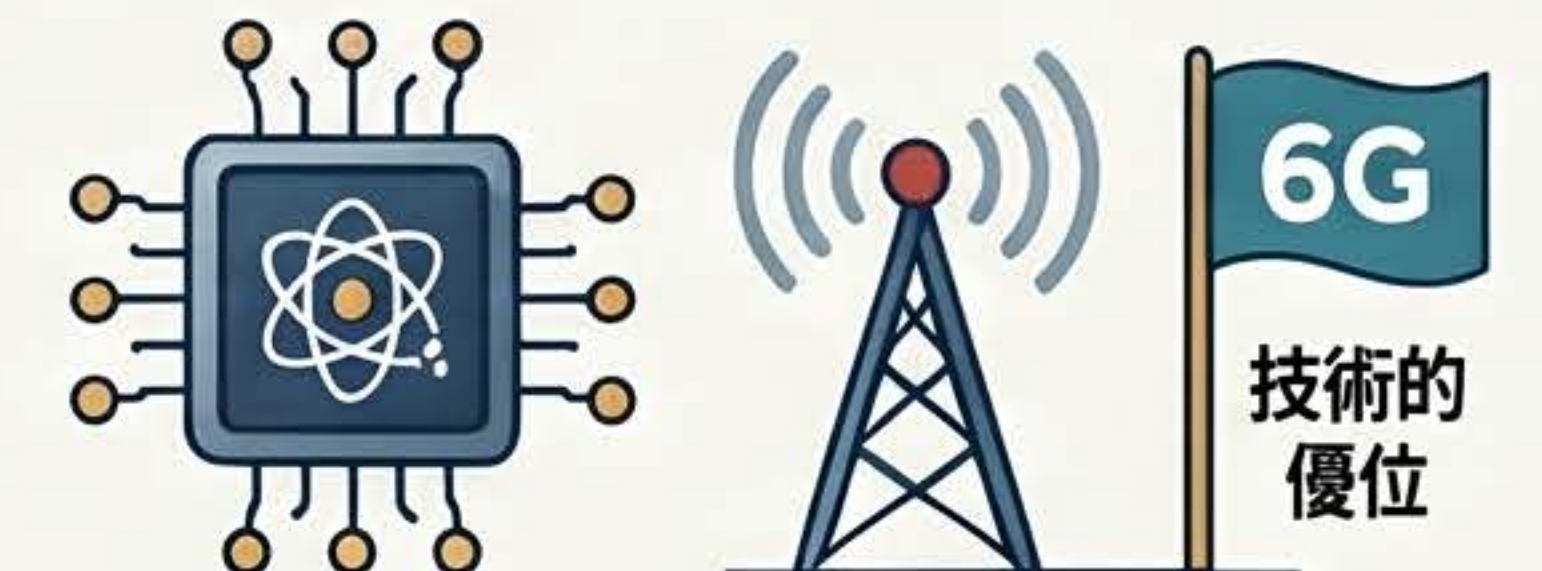
発酵技術とAIの融合によるバイオ製造の確立、およびLCAガイドラインや業事規制の国際的な主導権（リライアンス）の確保を目指します。

### フードテック：栽培ノウハウのシステム輸出



高品質な栽培技術をデータとして適切に保護し、システム全体を輸出することでロイヤルティ収入を確保する仕組みが必要です。

### 量子・次世代通信：6Gにおける技術的優位



市場拡大を見据えた国際標準化の切り分けと、6G等のワイヤレス分野での技術的優位性を維持するための知財戦略を推進します。

## 結論と3つの重点提言

### 1. 「契約・取引」への介入強化

クリエイターや制作会社に資金が適切に還流するよう、ライセンス契約の透明化と取引条件の適正化を強力に進めるべきです。



### 2. 生成AIと著作権の新たな均衡点

クリエイターの権利保護とAI開発のためのデータ利用のバランスを取る「プリンシプル・コード（仮称）」等のルール整備が必要です。



### 3. 防衛策としてのサイバーセキュリティ

サプライチェーン全体でのセキュリティ向上を、特許化されない重要データやノウハウを守る「実質的な知財保護策」として位置付けます。